

レポートの読者アンケート

2006年6月に発行した「2006 九州電力環境アクションレポート」のアンケートを通じて、九州電力の環境活動のあり方などについて、158件（2006年度末現在）の貴重なご意見をいただきました。ご協力ありがとうございました。

九州電力の環境活動への取り組みについて、特に印象に残った項目とその理由についてお聴かせください。

九州電力の環境活動への取り組み、又はレポートの内容について、ご意見・ご要望等ございましたら、ご自由にお書きください。

◆：ご回答が多かった項目、【 】：人数、○：主な理由

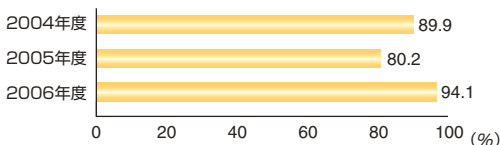
- ◆温室効果ガスの削減（再生可能エネルギーの推進）【25人】
 - 京都議定書が発効し、その達成が至上命令。本当に達成が可能かどうか注目している。
 - 火力発電は大気汚染物質を大量に放出するし、原子力発電は安全性に不安がある。風力・太陽光発電に早急に取り組む必要がある。
- ◆ゼロエミッションへの挑戦【23人】
 - 使用済み作業服をリサイクルしたエコ軍手の事業所での使用など、社内で使用するものから変えていこうという姿勢が出ていて印象に残った。
 - 基本的な3Rをしっかり実践している点に意識の高さを感じた。
- ◆エコ・マザー活動【18人】
 - 次世代を担う子供に対する環境教育の取り組みは、日々の地道な活動であると認識している。
 - 母親も子供と一緒に学ぶ。このような活動によって人々の意識が高まると考える。
- ◆九州ふるさと森づくり【14人】
 - 毎年、各地で10万本の植樹とその育林のため下草刈りをしているのは大変厳しい作業だと思うが、今後も継続的にやってもらいたい。
 - 地球環境回復の一つでもあり賛同できるが、地域活動に止まらず、世界全体へ目を向けてもしるべき。

寄せられた代表的なご意見、ご要望

- ◆環境活動
 - 技術進歩によりCO₂排出原単位は減少していても、実際のCO₂排出量が年々増加しており、これを削減する努力も必要。
 - エネルギー問題は環境問題の中でも大きく取り扱われる項目。原子力発電を安全できちんと整備された条件の下で使用してほしい。
 - 産業廃棄物については、リサイクル率も重要だが、何より発生量を少なくすることが重要だと思う。
 - 植樹や環境教育支援活動は地道な活動だが、今後も継続して行ってほしい。
 - 何気なく使っている電気だが、このレポートを読んで、もっと環境について考え、電気の使い方を改めていこうと思った。
- ◆環境アクションレポート
 - 日常生活の中でできることは何かあるのか、参考になるものを紹介してほしい。
 - このようなレポートがあることを初めて知った。知らない方も多くいるのではないかと感じる。もっと積極的なPRが必要。
 - ハイライトをはじめ、全体的に写真・図表が多くわかりやすい。
 - 巻末用語集はわかりやすく便利だが、文字がやや小さい。
 - 環境のための活動にはどのようなものがあるのか知るためにこのレポートはとても有効であると思う。これからは是非続けてほしい。

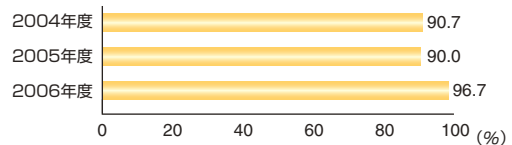
【ご意見の経年変化】

■ レポートのわかりやすさ



(注)「非常にわかりやすい」、「わかりやすい」の回答割合。
(2004、2005年度は、「わかりやすい」、「ややわかりやすい」の回答割合)

■ 当社の環境活動への取り組みに対する評価



(注)「十分評価できる」、「評価できる」の回答割合。

アンケート結果と対応

環境活動全般に関するものからレポートの編集・体裁に至るまで、様々なステークホルダーの方々から貴重なご意見を数多くいただきました。

いただきました主なご意見については、本レポートの関連ページにてご紹介（👤マーク）するとともに、併せて、記載内容への反映・充実を図ることで、環境コミュニケーションツールとしての更なる充実に努めています。

また、地球温暖化防止に関して、当社の活動に対するご意見と併せて、「日常生活でできる環境活動を紹介してほしい」とのご意見も多く寄せられました。このため、従来当社ホームページ上で紹介していた「私たちにできる環境活動」や「環境家計簿」などの環境情報をとりまとめ、お客さま向けの小冊子『私たちが地球のためにできること。』を新たに作成しました。

今後は、これらのツールを積極的に活用し、より多くの方々との環境コミュニケーションを展開していきたいと考えています。



お客様向け小冊子
「私たちが地球のためにできること。」